

のーへんも彼氏と恋恋の「ゴースト

～カレの命と弓を換えて性契約～

1：彼といちゃうデート…のハズが!? 迷い込んだ洋館

(勇士) あ……やつぱダメだ!

……つたぐ。夏休み最後の“デート”だつていうのに、レンタカーが突然ダメなんなるなんて。俺の普段の行いが悪いのかなあ……ホンシドーめんなー

確かに、かなりの山奥まで来ちやつたけど
レッカー来るまで2時間以上もかかるつて。ツいてないよ……
こつち向いて。疲れてない?

クスッ良かつた

ね、車でじかにしのても退屈だし、ちょっと探検してみない?

こんな自然のド真んなか散歩でかかるなんて滅多にないし! 行こ!

ホラ、手。みきて。手繋いで歩こ。

クスッ、べびちゃんはこつとも余たい手してんなあ
じゃ一本口も、人間力イロのわたくしが
お姫様の手を握つて温めあげましようね

あれ? やつせりんな分かれ道あつたつけ? ずっと一本道だったよな

うわ、何だ? 坂の上にすげー立派なお屋敷がある……
こりにこんなでつかい屋敷があるなんて聞いた事なかつたけど……
どうやら廃墟みたいだな

ずいぶん雰囲氣あるじゃん 肝試しみたいで樂しかつー。
ね、行つてみよ? 様子見るだけー お願ひー

とか言つてホントは……

イチャイチャしながら歩く口実が欲しいだけだけど♪

ふふふ、え、良しの？ やつたー。

え？ でも怖い？ あまあ、心配しないで

口も沈んできたし、真っ暗になれる間に車戻りう？

うわあ……だいぶ昔の西洋館って感じ

長いこと人が踏みこってないみたいなのに、不思議と綺麗だね
湧き水が噴水みたいになつてゐる……映画のセットみたいだな
こんな家に住んでたなんて、きっと立派な人だったんだう？ね

うわっ急に大雨降ってきた！

走ろうー！

うわー今日、降るなよーー！ は出でこなったのに。全身ビショ濡れー
大丈夫か？

……つて、すつづ……。一体こいつ部屋があるんだ?
高そうな家具も全部そのまま放置されてる
うわー…びっくりした

おいで。俺の傍にきて
俺から絶対離れないと。

「の大雨じやじゅみぢゅべー」は出でこな
勢いが収まるまで少し雨宿りヤセてもうおう

てか、うわあ……奥もめりやくや豪華な部屋が続いてんな

大丈夫、俺がいるよ

わー。

「めん」「めん…びっくりした？
アハハハ、本気で驚いてるじゃんー

だつてー、怖がつて人の可愛いんだもん

必死で俺の腕にしがみつこうか？、ずーっとオッパイ当たつてゐるから

はははー。

でもホラ、これでもう怖くなつたでしょ？

ふふつ良かつた

夏の終わり」「へ入つきりで

「こんなスクリーニングな思い出作れるなんて……

最高だと思わない?

俺は最高。ん……

ねえ、ちゅーしよ

ね、好き。ずーっと大好き

もう一回チュー♪

あ、ねー、ちゅーと「シチ見てよ、なんどよも見し——

えい何それ? 綺麗なオブジーがついたオルゴール……
そんなの二つの間に見つけたの? まだ動くかな?

ちゅーと動くみたいだけど、何だかちょっと寂しい曲だね

あれ? カップルの写真……」の家の主人と奥さんかな?

2人とも容姿端麗ようしあんれいつて感じ……

わつーなごだ!?

(一徹) 「」へ勝手に足を踏み入れた者がどうなるか……わかつて来たんだもつな?

(勇士) ア、ア、ンタ、誰だ? 彼女から離れる!

(一徹) うわわわわ!!

(一徹) この場を踏み荒らした事

小僧もろとも必ず後悔する! 」にしなのを……

(勇士) 逃げよつー早ー振り向くなー

2. 彼の命と手を換えに...「コーストの要求

(勇士) もしもし。ああ、良かつた。起きてもうつむに電話間に合ひて...

もつ寝る準備できた? ちやんとベッド入つてね? うふ。わつか

ふつ

こないだあんな事があつたばつかだし、

本当は毎日べびちやんのとこ行きたいのに、

今日も会いに行けなくてほんとゴメン

電話の声だけでも聞けてよかつた。明日は、早めに仕事終わつてわら行くな

(勇士) んつ~オル「ゴールの音」.....ああ、あの時焦つて持つて帰つておしゃつたやつか
大丈夫、約束忘れてないよ。今度ちやんど2人で謝りながら返しに行こう
でも.....何だかすっかりべじやんのお気に入りになつちやつたね

もー、そのままもらつちやねば。

フフフッはい、ダメですね。戻しにこきましょーね

ふつ 遅くに電話してゴメンね。声が聞けて安心した
ゆつぐう休んでね。また明日こつぱい話で

それじゃ、おやすみのチューしと~。早くつ

フフフン、俺のチューも欲しい?

……明日に取つとくからダメー。

アハハハ、ズルくなつよべびちやんがちやーこと今夜も俺の夢見てくれるのよつ
に!
クレバーな僕の作戦つこと♪
クスクスクスッ怒つてなごでりやんと寝なよ~・おやすみッ!

(一徹) 化け物屋敷から物を盗むどつなるか、"存じかな?・お嬢さん
動こつとしても無駄だ

フツ じぐり逃げよつしても
お前はもう、手も足も、指先ひとつ動かせない
叫びたくとも、かすれ声しか出せないだのう。

ハハハッ、何だ？お前、その様子じゃあ初めてか？
化け物に、金縛りられるのは？

フフッ
動けない体を……

馬乗りで好き放題にされた気分はどうだ？

クスッ諦めの悪い女だな。それやつてもおかげばもがく程
全身から力が奪われて……頭までボーンとしてへねじこむの

フフッ、憑きの良いじゃじゃ馬だ。腕や脚に力を込めれば込めた分
筋力も氣力もどんどん抜けて……
が泥のように地面へ沈み込んでいく
けど……なぜか気持ちいい
そうだろ？

吐息が荒ぶる程……私の体にしみ込んだ淫靡なお香の香りが
鼻から脳に充満して……理性を溶かし、本能を呼び起しこそんだ

フッ、どうした。得体のしれない快感に襲われて……不安に震えているのか
クスクスクスツ

私が怖いのか？

まさか、化け物が名乗つてから襲いにくると思つていた訳じゃあるまい
安心しろ。」Jつして私の声と香りがお前の中に充満するにつれて
ふわーっと脱力して……
ほう……。もう……何もかもどうでもこいつて気分になつてしまふだろ？

フフフッ、何も怖がる」とは無い

「死はいつも理不尽に訪れる」「これが摂理。お前にはそれが今來ただけの事だ

恐ろしかも……じきに忘れる
お前はまだ なすがまま、大人しく身体を開いていれば……
「の私が世界一 気持ちよく逝かせてやるわ

何だ、お前まだ動けるのか もう……そんな力は無いハズ——ん、
聞きたこゝとへ 私に？
なぜ……そんなに悲しそうなのか……だと？

フツ、悲しいはずがないだろう 何を言い出す――

今も、**「**玲真と回じ悲しげ顔をして**」**…?

お前——

うへりやーー黙れ

まあいい、気に入つた。お前をとり殺すのはやめて今宵は少し遊んでやう。うつ
どうせ、**「**こんなしぶとこ女を手にかけるより、あの能天氣な小僧を手にかける
方がずいぶんと樂をうだ

おつと……何、心配するな

とり殺すのは小僧だけにしてやる。私の代わり……

お前には特別……の世の天国を見せてやう。うつてはるんだ
お前も十二分に楽しめ

まづはお姫様に……熱いキスの、**「**挨拶を

フツ、**「**うつした?**」** そんなに呆けた顔をして?
化け物の体内がこんなに熱いとは知らなかつたか

百年もの間 地獄の業火ごうかに焼かれ続ける魂が、私のハラワタを燃やしてうるん
だよ
んん……

もつと舌を出しちゃう?**「**

脳まで溶けだししうな快感を直接送り込んでやう。

もつと……もつとだ

お前の舌を動かして……私の熱に応えるんだ

ハアツ……

このまま……私の指を咥くわいて

そう、**「**こ子だ

長い孤独と虚無にひたつて凍えた指先は……
舌と違つて、真冬のつるりのよつて冷たいだう。

お前の口で……

小さな子供のように、チューチュー吸つて奉仕するんだ

訳も分からぬまま熱に浮かされ従順に奉仕する姿……つじつじして、可憐へ
て……
ますます泣かせたくなるなあ?

戯れば、**「**おだだ。服を脱がして……体中、直に もてあんどあげよつた。**」**

フフフッ、恐怖と快感に濡れた女の体は美しい
お前の体をいたがりながら……墨々おじいちゃんの腰

この指先……じくらお前の熱い口内でねぶられようとも
氷のように凍えたままだ

「うして……お前の喉元をなぞると
まるで刀の切つ先を突きつけられるようだらけ。
なのに……」

「うちには燃えるように熱い舌でしゃぶられる

この、救いよりもなく冷えた体と 煮えたぎるハラワタの熱で
体がバラバラになりそうな最高の快感を……
お前の肌に直に叩き込んでやるうな？（耳ナメ）

両手を上にあげて
首から……わきの下も

鳥の羽でスー——シと撫でるように

フフッ、動けない体がピクピク反応してころん

乳房も……ゆつくり円を描くように全体をなぞつて……
触れるか触れないかの加減でながられ

まだ触れてもいい乳首が……

「こんなに硬く立ち上がつても
周りをクルクル刺激されるだけで……肝心な場所は全然触つてもうえない
もどかしいなあ？苦しいなあ？
指が乳首を通り過ぎて、脇腹へ行つてしまつたなあ？」

「すぐつたくて……動けなくて……」

全ての感覚が……無防備な体を這いまわる私の指先に嫌でも集まつてしまつ
放つておかれた方の乳首も、固く勃ち上がつたままジンジンしつ放し

「この熟れた果実、私の口で存分にナメしゃぶつてやるつ

ハハハッ感覚が研ぎ澄まされた乳首を、熱い舌で「ね回せれる部分はどこだ？」

反対側は……甘酸みしながら舌先で軽かしてやるのか？

フフフッまだ始まつたばかりだとこのに、すっかり溶けた顔をして……お前は可愛い女だな

「の指、次はどうへ行くと悪い？

フフフッ良い表情だ。不安と期待が混じりや混ぜになつた顔
そんな顔見せられると、男はもつと虐めてやりたくなれるんだよ

フフフッ、そんなに期待してくれてたのか？
お前の中心で……熱く膨れたクリトリスが
すでにグツチユグチュに濡れながら待つてこんな

「」を、氷のような指先で「」を転がしてやるつ

ハハハッ、散々焦られた後に、体の中で一番敏感な突起を
ただそこだけクリクリしね回されるのはたまらないだろう。
体中の感覚が、その一点に集まつて……

高ぶりきつた熱を、好き放題にもてあわばれる

だが、簡単にイカせはしない

甘い吐息とその声……もつと聴かせてみせり

「」だけじゃ辛いな？ もつとして欲しけなあ？
自分の口でねだつて見せら

乳首もクリもマ○コの中も……全部グチャグチャにしてイカせて貰ださうつて

ホラ、早くー

——ん、何？

何でもするか？……自分を身代わりに、彼だけは助けて欲しい？

何だそれは？ 偉そつないことを抜かすな
自分の命と体で交渉しようつとこうのか

お前を危険にさらう、「」のような結末を招いたのはあの男だぞ
それでも小僧を見逃せとこつのか？

ハアツー、お前のやうな女が一番いけ好かない

この私に[#]描図しようとするなり、相応の代償は払つてもいいわ

化け物に魂を売る覚悟がお前にあるのか？

フツ、よかろう。なれば、お前の命をもひつまでもにあとのと由やる
あの能天氣小僧を見逃す代わりに、ひと由の間、お前の体を私に差し出す中

役目を全うできたら、小僧だけは助けてやる

お前の命はその時もひつまでも

いいんだな？

フツ　お前、やはり面白い女だな

それじやあ見せてもらおうか？　命を差し出すお前の覚悟を

脚を開け　マ○コも両手でしつかり開くんだ
きちんと見せりよ？　私を満足させたいんだろう？

お前……まだ震えてるのか

そつ抜ぬくな

大丈夫だ。お前を傷つけたりしない、ただ私に体を預けてくれるだけでいい

お前の体、隅々まで確かめさせて

フフツ、怯えた顔をこじこじも……！　ほしつかり濡れちゃうだな

舌で綺麗に拭つてやるつ

誰が手を離してことじつた？　良ことこつまでもちと開いてみ

はあ……ツジーナにすすり取つても溢れてくる

これじゃこつまでもやめられないわ。

はあ……ツ

中がどうなつているか確かめてやる

もし両手を離したら……契約は破棄するわ

ハウツ……

熱くて、ドロドロに熟れた音……お膣にも聞こえたみたい。

何だそんなに締め付けて。感じなことつに耐えられるのか…
可愛い女だ

そんなことしたら、ギューギューに締めた中で……！ うして力強く動かされ
て

余計に快感を強めただけだとこのに

クスクス笑った。お前はただただしゃって感じて
ねじ込まれた指の動きが直接頭に響いて
脳の中までかき回されて、快感でどひはんしながら…

もつだ、従順に鳴け。そしてもうひとつの可愛い声を聽かせて？
イケばイクほど感度が良くなる、私といふと繋がり合いつ…
魂まで一体化して…

なんだ、抵抗する気か？ 命乞いなら後でたっぷり聞いてや——ん？
まだ手が、ずっと冷たい…

ああ……へ。いつも話したひつ。血が通っていないんだから当然だ
ん、あ、ただ手を……握つて温めよつとしてくれた……のか

フツ、無理だ。こへへお龍の手で握りつとも、私の体温は変わらない

ほひ……

こへへお前の 真っ赤に染まつた頬に手をやめると……
クスツ、な？ 氷枕のよつで気持ちいいだろ？

ん、やつと笑つた……？

そんな優しい顔、見れると思わなかつた……

お前は……本当に……

うんつ

私を……おまでも両立させた女だ

お前の口から出るのを嘘も噃だけでいい！

ほり……私のモノに触れてみろ

「口せまぬで生きてこらかのよつなだぎつだのうへ。

「」かいまもつ手加減しない。減らず口ひとつ呑けぬよう、責め倒してやるのよ
腹の奥まで貫いてやるから、大人しく脚を開いて……私を受け入れろ！

亡靈に犯されるとはどういう事が……分かるか？

私の魂そのものを受け入れて……ひとつ

ハアツ……杭打たれる

魂で繋がり合つまぐわいは……生身の人間とするより何倍も気持ちイイ
人間の男の「」など忘れてしまつほど感じさせいやる

フジどうした？

私にイカされるのは嫌か？ 魂までが犯されるのが怖いのか？
身も心も私の物になるのが怖いのか

お前の考えている事は、言葉にせずとも手に取るよつて分かる

抗うな。もつと、イケ。もつと感じな

何もかも忘れて私の事だけ考えろ

私に与えられる衝撃で……ただただ身悶えていればいい

んん……ハアツ、もつとお前の声を……聴かせて

お前は何も悪くない 愛する男の為に……ハアツ

私の言ひなりになつてゐるだけ。そうだろ？

だから……ハアツ……今は私の為だけに鳴いていろ

ずっと半開きの口も……私のモノにしてやりたい
ん……

私の事はまだの幻想と思つてくれていい。だから……
だからもう……私を恐れないで。ハアツ……んんつ
絶対に……傷つけたりしない。ナツキ、お前と約束したんだ

約束は……守る

もつと深くで……私を受け入れてくれ

ああ……そんなに締め付けたら……私も、もつ……ツ

ハウツ……ハウツ、ダメだ……んんツ
もう、我慢できない

お前の中に……全てを、全てぶちまけやせで

んん……あつ、ハウツ……ハツ、イク、イクぞ、出る……
腹の底まで突き入れて……私の子種で満たしてやね……！

※発射

覚えておけ……

「こうしてお前に注ぐ度、私たちは一つになつていくんだ
体を重ねるほどに……お前がイク度に
私たちの仲は深まる……」

何人にも……引きはがせぬほどにな……

3、あれはただの怖い夢？・彼と久々にお家デート&「ワガワガ

(勇士) べびちゃん！ ただいま！

「今日は今日は今日は今日は……」つて、

ぬかがり仕事頑張って、ぶつ飛んで帰ってきたよ。偉い？ 襲めて！

ふん♪

ね、喜んで。全然会えてなかつたし、明日は代休もうつちやつた♪
久々に、ずっと一緒にいられるよ

ね、ちょっとだけお料理の手止めて

いい匂いでメチャクチャお腹空いてきたけど……

モーリス・ヘンリイの墨

23
お頬

۲۷۰

今日の俺は……ハアツ、お預けくらつた「ライオン」状態なの
会えない間、電話の不安そうな声だけ聞いて……たまんなくなつてた
今すぐベジちゃんが欲しい

エプロンも洋服も今は「いらない」から脱がせちゃうよ
早くベビちゃんを味わわせて
ん……

キッチンじゃ嫌?
どうして?

自分だつてもうこんなに……息荒くしてゐ癖に
そんな顔で嫌つて言われたら……余計に興奮する

寂しかつた 会いたかつた

会えない間、怖い夢ばかり見てた
べびちゃんが傍にいてくれないと、俺もつ.....、無理みたい

ふふつ、明るいキッチンで……俺に素っ裸にされてるベジちゃん

恥ずかしがりの可憐くて……止むなくなりつつも、
もつと意地悪な事したくなぬよ

こうして……首元に吸い付いて……

俺のマークたくさんつけたいよ
ダメ? どうして? 見えるから?

見えるからいいんじゃん。みんな

俺だけの物……つてマーキングしたい
べびちゃんの事、独り占めしたいよ

んーじゃあ…………柔らかいオッパイ…………」つむぎちゃんと俺のマークつけてあげる

反対側も……

ね、乳首はぐうして欲しいわ。
しゃがって欲しくて立派な風に跨まんでくつくなれると
ベビーチャンパンがぐいぐい濡れちゃうんだよね

でも……指で摘まむだけじゃ足りないでしょ？

ふうつ気持かしい? いいよ。声我慢しないでこいつぱい聞かせて

反対側も……

どんどんエッチな顔になってきた

べびちゃんの気持ちいい所、全部知りたいよ。
ちつともう少し……俺に教えて

一九四〇年三月一日

恥ずかしくなんかないよ、その・ま・ま

「……………」
「……………」

ダメだよ暴れないで、ちゃんとして
そんなポーズで悶えてんの、超エッチだよ。自分で分かつてね~

べびちゃんの体は、全部知り尽くしたらしい。わかるでしょ
反対側のツキも……叫び声でソロソロしてたわぬ

敏感な脇腹も……
可愛いおくれも……

ん~ペロペロしぶしのつんちやんみたい~。ふうひ、ルービだよ
俺はべびちゃんの忠実な犬だよ
ご主人様が大好きな忠犬

ハイ、じやー今度は後の回にして。壁に手ついて立つて
ちょっとだけ脚開いて立つて
オマ〇コがどうなつてるかチョックヤせて

ふふふうダメだよ、ひやんと脚開いて立つて
べびちゃんはホントに照れ屋やんだなあ

ん……しようと。脚閉じれないように、俺の脚を股の間に入れて……。
「うやつて後ろからガツチリ抱きしめて……
オッパイ揉みながら……んつ
グチュグチュマ〇コ触つてあげる

フフツ立つられない? 脚ガクガクさせても可愛い
まだ、ちょっとクリトリスこじつただけなのに……
全身力抜けて腰碎け?
ここね? そんなにじや……むひと俺に好き放題されちゃうよ。

次は、指、中に入れよ? 今度はちゃんと立つてしまね~。

フフツまだ指入れただけなのに、そんな腰碎けでお尻突き立つてたら……
可愛いお尻、かぶつきたくなつちゃうよ

ふふつすゞこよ、マ〇コの中がピクンピクンして反応するの可愛い
お尻も感じちゃうの~。全身性感帶みたば
こんな風にお尻のまへぐ広げると……お尻の穴も丸見えだよ
キヨシですぽまつて可愛いで
そこじや、マ〇コも……

ふふらつ恥ずかしいの~ やだ~。

フツ、俺の性格知ってるくせに
そんなこと聞かれたらいつもひどいがちやうつむ

力抜いて? ギュッてしたらいつもが入らなくてしょ?
ん、ハアツ……。 変態? 今更?

フフフツ、知らなかつたの?
自分の彼氏が変態だつて?

俺は昔から……べびちゃん「コーカの」が変態だつたよ

そつこいべびちゃんも……オマ○コの方からどんどん蜜が溢れしへゆ
ド変態(勇十)にド変態フレイセで感じたりやつた?
……べびちゃんのトシチ♪

ふふつ、じやあ……俺の口で、

グンパクンのぬらりじマ○コ綺麗にしてあげるね

凄い……ハアツ……。ねえ、せつかく綺麗にしてあげるつていつの間に
たつきより余計にグツチユグチユになつてしまつたよ

困つたなあ、それじゃあまづはクリの方を舌でお掃除してあげるね

フフフツダメだなあ、後から後からトシチな液が出しへゆ
もつとちやこと脚開いて? 中まで舌突つ込んで
綺麗に吸い取つてあげるから

でもやひそろべびちゃん立つてののの限界だね。ベッドに行こうか
そのまま俺につかまつて

ねえ、一いつひつて? キス、して?
会えて嬉しい。今日はずつと離したくない

せつせまでは、後の向きでずつと顔が見えなかつたから
今度は正面で抱つこしながうしたい

ねえ、好き? 好きつていつて……

俺が何でもしてあげる

べびちゃんの願いは……俺が何でも叶えてあげる

フフフツ、口口、中までグツチユグチユで……
トロナれつなんばりこ熱くて準備万端だね

ねえ、俺……我慢できなくなつちやつた
べびちゃんの中に入りたい…………いい?お願い
べびちゃんももう我慢できなこじよ?

早く一つになつた。はあ……シ、コヽよ、挿れ…………ぬよ……ツ
んんッ、ハアツ……。あつ、ハアツ……。キツ……
中……狭くて、熱くて……俺の形、ギューッて握つて確かめられてるみたい
動くよ、……こんツ!

べびちゃん、大好き。愛してる
べびちゃんを、俺でグチャグチャにしたい
可愛い……そのトロンとした顔、H口すぜ。ね、もつと出すつて
こじが気持ちいいんでしょ? 我慢しないで
もつと感じてる顔、見せて

ね、べびちゃん。俺の名前呼んで? 勇士つて
その声が……ハアツ……好きなんだ……んんッ
いつまじイカせてあげるから、感じながら俺の名前呼んで

ハアツ……ハアツ、もつと囁つて
べびちゃんの声で……べびちゃんの体で……俺の頭ん中いつまじにして
大好き。愛してる。べびちゃん以外こりない
だから、こじよも行かないで

あ……ツ、ちゃんと締められたら、俺……出でやこうつだよ

もつと繋がつてたいのに……ヤバイ、気持ちいい……んんツ!

ハアツ、ハアツ……もつ、限……界ツ
出してもいい? べびちゃんの中に……ツ
俺の全部受け止めて

べびちゃんも、一緒にイツで? ハアツ……あつ
いくよ、べびちゃんの中に出すよ……ハアツ……あつ

愛してゐるひー..

フフフツ

ベジちゃん。田が潤んで、すいーじ可愛い顔してね

「」飯の用意、後は俺がすりぬ
一緒にお夕飯食べたら、うりよひくわうこへ.....

お風呂でまたシメー..

クスクスツ、え? ヘロヘロにならひやう..

ダメだよ、だつての風呂終わったうべツジでまたイチャイチャするよ..

んーー♪

今日は寝かせなこもん。覚悟してね♪

4、彼が隣で寝るのは…エスカレートする行為

(馬十) んん……んーべじりやん……むにゅむにゅ

(一徹) 隨分と楽しそうな遊びをしてましたようだな?

シ——ツー 暴れると小僧が起きてしまつた?

情事の痕跡が残った体で、服もまとわず裸で眠るなど…
私を挑発してゐるんだろ?

盛さかつたオス犬に全身くまなく舐められて

尻の穴まで広げられながら喘いでたなあ?

それも……恋人に隠れて、悪魔を飼う部屋の中です

据え膳食わぬは化け物の恥
ぜひ私も混ぜてもいいつとこなつか

フフフシ……今はやめて…

フツ、まだ状況が理解できていよいよ
化け物にそんな道理が通ると思つのか?

下手に抵抗すれば、小僧が田を覚ましてしまつた?
それに……そんな台詞を吐かれたら
余計に燃えるのが男の性だらう?

ハアツ……お前は何も分かつてないな
一晩中、あんな姿を田の前で見せられた私が…
どれだけの衝動を抑えていたと思つ?

小僧が隣でのんきに寝てゐる今だからこそ
この手でお前を鳴かせたこと言つてゐるんだよ

安心しゆ。小僧に私の声は聞こえてしない

あの犬が全身についた噛み跡に……私の印をかぶせてやひつ
丁寧に……一つづつ

あの小僧に「された」とをなぞりながら、記憶まで上塗りして……
お前の魂と体が、今は誰の物になつたのか
体に教え」「ん」でやううな

ん？ 拒むのか？ ジヤあどうすゐ？

私は今すぐ隣の小僧の命を吸い取つてやつてもいいんだぞ

考えを改めるなら大人しく力を抜け

フツそれでいい

無駄な時間をかけねばかけるほど、小僧が起きる時間が迫るだけだからな
あ？

まずははどうされてたつけ？

首筋に……「んな風に舌がはい回つて

ワキまでジユルジユルとしゃぶつ回され……

おい、ちやんと両手を上げていら。分かつてんだら？

胸もいりつして……揉みしだきながら吸い付かれて

乳首もチュプチュプ出でてもあわばれていったよなあ？

この……犬つゝろがつけた胸元の赤い跡に、私の噛み跡をかぶせてやるよ

2人の男から一晩中食らいつかれる気分はどうだ？
反対側にもちやんとつけてやううな？

お前の柔らかい肌に、真っ赤な皿の花を咲かせてくのは
最高に興奮するよ

だが私はこの小僧のように、乱暴に食らいついたりはしない
ねつとりと追いつめて……墮とす

自力では這い上がれない場所までな

小僧を起しそぬように静かにうつぶせになつて、尻を突き出せ
どうした、早く尻を突きあげろ
小僧の前では やつてこただらう！

そうだ、いい子だ

そのまま両手で割れ目を開け

今から……前の穴も尻の穴も田つぱよ広げて、私の舌で
隅々まで愛撫されるんだよ

もし躊躇するなら容赦しない
契約を持ち掛けたのはお前の方だ。約束が守れないなら分かつていいの?
フフシ

フフシそうだ、賢い子だな

フフシ、良し眺めた。お前も興奮してゐるんだね?

あふれ出でてゐる蜜の雫も、ヒクヒク震でてゐる尻の穴もよーく見えている
まずは……因ひん這いで突き上げた尻に」

小僧と同じようにかぶらつこい楽しむところのか

フフシまだ何も始まつてなことこの間に

そんなにビクビク反応してどうすの

ヤツキは……尻の穴までナメられて随分感じていたな?

恥ずかしいのが好きなのか?

フツ、それなら私も存分に辱めてやるから、両手でしつかり尻を開いてろ

おい、誰が動いてることつた?

恋人の命を助けたければ、きちんと尻を突き出して両手で穴を広げてろ

2人の男に……

こんな場所まで舌をねじ込まれて興奮しているのか?

おい、ヤツキはあんなにあつれもなく声を上げてたのに
私の時はだんまりか?

前の穴もわたりとなんに「グッシュコツ漬たらしくハル

期待でぱつぱつと躊躇ひんだクリトリスを
小僧の田の前で存分に味わつてやるつた

フフシ、ルツやつて枕に顔をうずめて
意地でも声を上げないつもりか?

お前がその気なり……、私も今夜はどちらに泣き声を漏れようが容赦しな
い

お前の心が小僧の物なら……体だけは私の物にしてやる

フツ、声より向より、これ

凄い濡らしこみつけだなあ そんなに興奮してゐるのか?
それともヤツツヤツもーとこなに漏らしたのか?

必死に声を扼えてこらのよつだが……「こんなに濡れた水音を部屋中に響かせて
体をガクガク震わせれば、大声を出しても大差あるまい?

勃起しきつたクリをねぶり続けながら
膣の中の弱い所も、指で同時にかき回すのはどうだ?

共に生きられないのなら……せめて記憶を私で一杯にしてやる
記憶の中でしか傍にいられないなり

今は何度もお前の前に現れて……全てを私で上書きしてやる

(勇士) うう……ん、なに、何の音……べびゅやんコッチ……むにゃむにゃ (寝息4秒)

(一徹) よそ見をするな、放つておけ
今は私の事だけ感じていろ

私の指を咥え込みながら、他の男を気ににする余裕があるとは
まだまだ責めがいがあるなあ?

(勇士) うう……ん、べびゅやんこッち……モゾモゾしてどうしたの……
まだ真っ暗……田覚まし鳴つてないよ、もう少し……むにゃむにゃ (寝息4秒)

(一徹) 小僧が起きよつがイクまでやめないと
あられもない姿を見せたくないければ……
大人しく私に体内をかき回されて、イケ
ホラ、イケよ
……イケ!

ハアツ……あつ、中が……ビクビク震えて、締まる……ツ
フツ、最後まで声を我慢して偉かつたな
おいで、もうじつちを向いていい
フツ、そんな泣きしきな顔で耐えてたのか
でも、背徳感と快感でグチャグチャになつたお前の顔が……ツ
健氣で煽情的で、最高に可愛いいんだよ

目を開けて

誰といふしてゐるのか、ちゃんと私を確かめて
私の全てが幻だとしても……
「の幻を……、どうかお前の体に刻み付けてくれ

お前、好きな男の前で犯されるのは嫌か？

それならば、私の前で……命じた通りに自慰をしろ
きちんと私を楽しめせたり、今日の所は許してやる
そのグチュグチュに濡れりした下半身を
自分でイジりながらイク所を、私に見せるんだよ
化け物相手なら何も気にしなくて済むだろ？

私は……

お前の隣で全身を鑑賞していくや。ホフ……
早く私を満足させなこと犯されてしまつれ。

フフッ、いい子だ

おまえは足を開いて、たつともまだ私に好き放題ナメ回すれていた割れ田を広げて23

ハリはりつくなつてしまふ。

自分の指で優しく触れて確かめてみる

溢れだす蜜と私の唾液でじゅうじゅ濡れて……
指を動かす度にクチュクチュ音が鳴るだけ

2人の男から一晩中イジられつ放しで、すっかり熟れたクリトリスも……
私たちの体液が入り混じった淫靡な蜜を塗り付けて……クリクリこねて、ハラ
ん？

もし勝手に手を止めたりしたら……おぐに私のをねじ込むぞ
フフッ、お前は利口でいい子だな

乳首も……自分の指で好きなように転がしてみる
体中の敏感な突起を……自分で虐めて悶える姿を
私にじつづく見せねばだ

はあ……シ、一呼吸してずっと密着しつづねと、私の体に染み付いた妖しい香の香りが

呼吸の度に鼻腔を這つて、脳に充満するだらう?

そのままゆづくり鼻から呼吸を続けながら
グチュグチュに熱く溶けたヒタと、その中も
自分の気持ちじよづに触つて「ハーハー

自分の気持ちいい場所、わかるだろ?

中にもクリにも、快感を叩き込み続けるんだよ
フフツ!そんなに切ない顔をして。気持ちいいなあ?
もう、声が我慢できねえにならのか?
なら私が塞いでいてやるわ

快感と背徳感で呼吸が早まつて……
私の声……私の香り……全てがお前の脳裏に焼き付いて
理性を溶かして、本能を掘り起します

隣で眠つてごめん恋人の匂いすいかも消されても……一呼吸して脣を噛ませた度に
体中の感覚を私に奪われてごくんだ

おい。イキそうになつても手を休めるなよ。
恋人の命を救いたければ……全てを私に晒しながら何度もイクんだ
でもいいだろ?

恋人の横で犯されたくないなら、手を動かし続けて
何度も私もやらしいイキ顔を見せるとだよ

もつ許して欲しい? ふつ、呆けた顔で懇願して……

……ふツ、お前は……その顔が男を煽るのがわからないのか?

本当はお前の可愛い鳴き声を聽かせて欲しい
だが、そつこに必死にアトギを一呼吸で快楽をおぼせぬお前の姿も……
たまらなくそづれの

ハア……
もつと……わづと気持ち良くなつて

ホラ、クチユックチユックして卑猥な音が自分でも聞こえたんだ。

「小僧には跡をつけやせなかつた」の首元に
もし私が真つ赤な印をつけたなら……

お前は、鏡を見る度、誰かと話す度……私を思つ出してくれるか?

なあ、教えて
どうか……思つ出すと四つて

「Jの身がただの幻だとしても、貴女といった印を刻ませて欲しいんだ
ん……

「ハアツ……首元に、真つ赤な私の印が付いたよ
この卑怯な悪魔の腕の中で、もう一度イツて見せて
ん……まだ足りない。もうと私の胸の中で乱れて
快感で何もかも忘れてしまつべからん……

キスで口を塞いでいる間に、もう一度
私の胸の中で……イツて……!! んツ、ハアツ……んんツ
……んツ、ハアツ……ハアツ……

お、おい、大丈夫か?

はあ……ツ、意識を手放す程……無理をさせてたのか

フツ、こんな卑怯な化け物になり下がった私を、どうか……

どうか、許して……

5、人生最期の日にも執拗に…電車で襲われ略奪SEX

(一徹) 今日は、出かけてはダメだ 大人しいじこらわ

今日が人生最期の日なら、彼と一緒にいたい?
「うー」に呼ばば良いだろ? なぜ出かけなきゃダメなんだ?

家にいたい酔いたれぬ……ひて、それは—その……

と、とにかく、悪い事は言わない。今日は電車に乗つてはいけない

何だこれは?

盛り塙に……大量のお札……。フ――――ツ
こんな子供騙しで私を家に閉じ込めようつとこつのか

待て!

頼む、今日だけでいいから、事をきいてくれー。私の傍にいろー。

どうせ死ぬなら、私の傍になどいたくない?
意味が悪いから、付きまとくな……

……ッ。どうしても……行くのか?

※場面遷移

(勇十)

あつべびちゃんこーじつかーじつかー。

こないだは車で大変な目に遭つたからね。今日は電車でおでかけしよ
わー結構混んでるなあ。大丈夫?。じつちおいで
全然座れそうにないなー。あ、真ん中の方は空いてるみたい。並んで捕まつ
べぢぢやん、今日は何かあった?
急にどうしても遠出して2人の思い出のレストランに行きたいなんて言つから
何かあったのかなーって思つて

俺の顔見て?

心配事、一人で抱えてないよな?

クスツ、大丈夫な? じゃー今日はドート目一杯楽しもー

(一徹)

うらめしや

わざわざ「へんたい」まで追いかけて何しに来たと思つ?

フツ、あれほど忠告したのに、ふぞけた真似で私を愚弄したのはお前だからな
後悔せんせいやね

ひと月の間、何度も繋がつては快樂を教え込んだその体
公衆の面前で……小僧の真横で、イカセまくつて「天国」へ送つてやるよ
両手でつり革を掴んだまま……普段よりキツめに金縛りだ

フフツ、騒ぎなければ騒げばいい

それとも、隣の小僧に訳を話して助けてもらひつか?

フフツ訴えたどじんで誰も……お前の服の中に化け物が入りこんで
体をまざつていろとは思つまい

フフツ、私に調教されつづいた」の体
こんな状況でも、私に密着されて……
耳元で囁かれただけで……
私の匂いを嗅ぐだけで……
すぐに熱くなつてしまつ。なんだろ?

無防備な胸を……」うして後ろから強引に揉まれて
乳首をこんな風に指先で引っ張られたり……
爪の先でカリカリ引っかかれたり……
首筋にしゃぶりつかれながら突然押し潰されても……
勝手に体が反応してしまつ

(勇十) べびちゃん、ちょっと顔が赤いよ、大丈夫?

満員電車、気分悪くなつちやつた?

(一徹) フフツ、小僧が呼んでるわ。

他の男に乳房を責められて上氣した顔、見せてやれよ?

(勇十) うーん、熱は無やないんだけど。平氣?

そつか。でも、具合が悪い時はすぐに教えてな?

(一徹) 相も変わらず、お前の体は素直で可愛いなあ
そんなにビクビク動いてどうしたんだ?

(一徹)

「フシモセガ、モウトソロから涎を垂らして欲しがつてこの器にやあるもつたな? わんわい触つて確かめて欲しこだひつへ。

「フフッ、やせつ……」リモドも快樂に従順な体だ
まだ乳首しかイジシてなことこの「じゅうつした」の水音は?
こつわよごロゾロに濡れいやしてこねるへ。

多くの人間の中で、小僧に見られながら責められて興奮したか?

お前の、敏感に育つたクコレコスに
ドロロの愛液を塗り付けてイジマつ回つたり面白がつだなあ?
試してみよつか?

「フフフッ、これだけひく金縛つこしのこ、腰がピクンピクン動いてる
こののか? 電車の振動で紛れぬと感つて油断すれば
小僧にも周囲にも勘づかれてしまつたらへ。

(勇十) べびかやそ、べつした? やはりつむつと様子が変だよ
汗もかこしてゐただつた? 本当に大丈夫?

(一徹) フフッ、これだけ愛液漏らしてたら、水音で気づかれてしまつかもな?

(勇十) べびかやそ、聞こへるへー、リハガル回こいりぐさへ。

(一徹) フシ、面白く。ぬめつた指でクリトリスはじき続けてやるから
お前は小僧の顔でも見つめて悶えたら

(勇十) じついたの? やんな顔して。少し疲れちゃつた? 具合悪い?
最近あんまり眠れなくなつたしだしながら 少し無理してたんじやない?

(一徹) 違つよなあ? ただのイキ顔だよなあ? フフフッ
クリだけじや足りないと涎を垂らしてぬるる
グッシンコロ濡れた膣内に、指を突っ込んでかき回してやるへ

(勇十) 久々の遠出だつて……JRの混雑の中すうとうかひぱだもんな
このまま乗つてて平氣だつて少し降りて休憩しようつか?

(一徹) 降つると聞つてた。今すぐ。せり……

もうとつて、立つてこるのがやうとの状態だらうへ。
脚がガクガク震えてゐる

つまらない意地は捨てろ、小僧にバレてもいいのか？

(勇士) ん？大丈夫？ ホントにホント？ クスッ、なら良かつた

まーあと何分かで着くもんな。もう少しの辛抱だから、着いたらお店で休憩しよな

(一徹) 私の忠告は何としても無視するつもりだな

ならばもつ……私も手加減しない。好きにやうせてもひつ

お前……指と一緒に舌で犯されるのが大好きだつたよなあ？

中の一番弱い場所を指で擦り上げながら、
脚の間に顔をうすめてしゃぶり回してやるから、せつぜんしつかり立つてこら

フフッ、後から後から蜜が溢れて漏れてしまいそうだよ
そんなに興奮してゐるのか？ 恋人の隣で「」を容赦なく吸われるのは？

フフッ泣きそうな顔で「」を見てもダメだ、まだまだ許さない
ああ、それとももつと
クコトワスを重點的に転がして欲しいといふオネダリか？

中も、私の指にキューキュー食らいついてきて……フフッ

イキそうなんだろ？・ホラ、イケ。イケよ

んツ、ハアツ……よく声を我慢したなあ？

でもまだ駄目だ もつといくんだ ホラ

んんんツ、ハアツ……

何度イカされても声が出せなくて苦しいなあ？

だが、「これも全部

隣でのほほんとゲームに夢中になつてこる恋人を守る為だもんなあ？

恋人の為なら……あともに立つてこられないうつしイキまくつた今からでもまだ頑張れるな？

恋人の隣で後ろから犯しまくつて……言葉の通り、死ぬ程気持ち良くなつてやる
一気にいぐぞ…………んんツ…

ああ……ツ、う、あ……ツ。ハアツ……
嫌がつてた割には……私のモノに絡みついて離れないとしないで

狭くて……熱くて、お前の中で隠されやつだ

フツ、ちゃんと声を我慢して偉いな?
だが……「」からが本番だ……ツ

ハアツ……イキやつなのか?

こんなに素直に欲しがつてくれるとは嬉しいよ
気を抜けば全部を持つていかれやつなほど、良べ……締める……ツ……

イケ。ほら、イケよ

フツ、何だ? もつ立つていられない?

声を我慢するだけで精一杯か

恋人を守る為に……泣きやつな顔で喘ぎを堪えるお前は可愛しなあ
すっかり……ハアツ、癖になつてしまつたよ……ハアツ
愛おしくて、食べてしまいたい

だがな、どうせわづかぐ全て消え失せるんだ
人生最期の瞬間くらい、何もかも手放してイキまぐれよ

フフツ、脚がガクガク震えてるな。もつれんたる限界か?
だが……、まだ宴は始まつたばかり
これしきで許してもいいやんと懇うなよ

泣き言は許さない……ツ
どんなに許しを懇願しても
容赦なく突きまくつてやる

悪魔と契約するとは……んんツ、一いつ事だ……ツ
私のたぎりを突き込む毎に……ハアツ
体中の感覚をとがらせて……快感をどんどん上げてやる

イケ……イケ……ツ
んんツ、そんなに喰らいつかれたら
私も……ツ、ハアツ……持たなくなれ……ツ……

もうすぐ目的地だ

到着までにあと一度でもイツたら……お前は完全に私のものだ
絶頂と共に……ツお前をあの世に連れていく

耐えられないなり……ツ、ハアツ……

恋人を見捨てて今すぐここから逃げ出せよ

ホラ……ホラ……ツ!

ダメだ、もう……ツ、私も果ててしまいそうだ
お前の方も限界だろ？ そのまま全てを私に任せて

イケ……ツ 私と共にすべてを解き放て

イク……ツ、イク……ツ！

快感と共に……魂全てを私に明け渡せ……ツ！

私の全てをお前の中に注ぎ込んでやる……ツ

※発射

大丈夫だから、私を信じろ。」のまま、意識も体も私に預けて……
目覚めた時には、全てが終わっているか？……そう、全てが……

(勇士)

気が付いた？ あ——良かつた……
酷い脳貧血だったなんて、俺が傍にいたのに気づけなくてゴメン……

突然倒れたから、怪我が無くてホントに良かつた

でも聞いて。一つ良い知らせがあるんだ

実はこの電車を狙つて犯罪予告してた奴がいて
次の駅で犯行直前に捕まつたんだって

ベビちゃんの救護で発車が遅れたお陰らしい

危なく大事故になると……

ベビちゃんのお陰で、皆の命が救われたんだよ……

6、隠された真実 「ゴーストの最期のキス

(一徹) これは……なんだ? 私に、お礼の供物?
くもつ

西洋の甘味か?

うまい……

ん? 何だ 何がそんなにおかしい? 私は100年前からずっと甘味が大好き
だぞ
これは何といふ菓子なんだ? 覚えておくとしよう

……『バズリスイーツ』。まことにつづお? ふうん、随分ヘンテコな名だ

口元にクリーム? 拭いてくれるのか?

フフツ、お前はつぐづぐ……甲斐甲斐しい奴だなあ

自分にとりついた亡靈相手にまで、そんな事……

……ッ!

すまない。今だけ……少しだけ……抱きしめさせてくれないか

ん? 一緒におやつ食べるからお膝に抱っこの方がいい? ハハハツ、分かつた
……よいしょっと

上に乗るのは得意なんだがな……」うして女を膝に抱くのは百年ぶりだ

私もかつて、命を奪われてもいいと思う程、人を愛した事があった
この人が私を騙すのなら、潔く騙されて死のう、と……そう思う程の愛だった

無様な悪魔になり下がった

私はな。生涯をかけて愛した人に、騙されて殺されたんだ
その人を幸せにしようと、未来を描いて必死に築いたはずの財産目当てにな
今の私は、人を取り殺さなければ存在する事もできない

ふつ……

お前もすぐに殺してしまおうと思つたが……焦がれた
何を思つてそんな顔をするのか

毎夜、悲しげな顔でオルゴールと私の写真を眺める貴女を見て……話したい、触れたい。いつも思つた

わい……、ど、どうした恋……ツ抱き着いてふふつ、お前はまだ……」こんな私を抱きしめてくれるのか

……ツ！

……羨ましかつた。命を差し出してまで貴女に愛されているあの小僧が貴女を取り殺すことなどでもない、例え自分がこの世から消えてしまつ事にならうとも

貴女は、この無様な悪魔を闇から立ち去らせる

復讐するもできない腰抜け幽靈に変えたんだよ

貴女の愛する利用して、貴女に触れたいと願つた私を許してくれ……

今日が、私のこの世での最期の日
もう一度と貴女の前に現れま
だから、最期にもう一度だけ……もう一度だけ貴女を抱かせてくれないか
全ての終わりに、貴女の記憶だけ持つて……
静かに消えていきたい

貴女の温かな肌に、もう一度だけ触れさせてくれ

この柔らかい肌……つひとつ吸い付く乳房も
何もかも私を狂わせた

私が敏感に反応する乳首も……「んじて優しく……

ふふつ、気持ち、いい?
反対側も……

下も……触れさせて

こうして……敏感な突起に触れる度
貴女が……私の指の動きにピクピク反応してくれるのが愛おしいしあつがない

どんな風にやれるのが一番好き?

「うしてクリを包む皮膚」とクチュクチするのがいい。
それとも……優しく剥いて摘むように可愛がねのと……
「うして転がすようにクリクリ刺激するの……

ふふっ、可愛い

もうと返持ち抜くなつて
中に……指を入れるよ?

ハアツ……キコツて中が動いた……ハアツ、大丈夫、そのままでぱい感じて

しょせん私は幻……」の交わりが終わつたら

貴女方あなたがた2人から私に関する一切の記憶を消し去つて、私も消えよう

だから……何もかも忘れて、快感に身を任せて

ん? どうした
記憶を消したりしないで?

「フフッ、貴女は全く……ダメだ。私の事など早く忘れた方が良い
この幽ゆうで……もう一度と呼んでもいきなじと思つと

私だけ、もう一度死んでしまおうそつな程寂しげ

貴女は眞実の愛を知つている人だ。彼の為にも、私の事は忘れて欲しい

フツ、嫌と言われてもダメだ。ダメなんだよ
貴女と体を繋いだのは、より深い所で繋がつて
貴女の命を確実に守り切る為ためだつた

「こんなやり方しか知らない悪魔で……すまない

ん、どうした。あつ、……んんっ、ちょ、待て

ハアツ……今そんな所を握られたら……我慢できなくなつただから……ツ

はあ……ツ。どうせ忘れてしまつなり、私にも気持ち良くなつて欲しい?

……んんっ、ダメだ、そんな事しなくていい
ハアツ……貴女の手で擦られてると恥つだけで……
歯止めが効かなくなつたんだ

は、あ……ツえ、

あつ、乳首、まで、そんな……ツ吸い付かれたら……ツ

はあ……シ、ああつ……

「こんな事されたら……シはあ……シ貴女がもつと欲しへなつてしまつかり

あ、ダメだ。それ……シ、口でなんか……シ

頼む……シ」のまおじや、本当に理性が、飛んでしまった、それ……シ

「うづうつ事は……シ、ハアツ、愛する人の為にといつておせなつて。……シあつ
今まで散々しておいたくせに……つて、んシ、ハアシ……
確かにそつ、だが……シ、こんなの……シ反則

頼む、わいつ……我慢でもなつ。」のまお口の中で爆発してしまつた

最期に……もう一度貴女と繋がりたい

こうして抱き合にながら……

貴女の中で果てさせて……

行くよ。ん……シハア……んシ

先を並てただけで……どんどん飲み込まれていく……はあ……シ

貴女に許されながら一つになれるなんて……

ハアツ……貴女の元を離れたくない……

奥まで付くと

中がキューキュー締め付けられ

体の奥まで……私の手で埋めぬくしたい
はあ……シ私の形を、貴女の体に貰え! もせたい

どうか許して

「うづつて……

どんなに貴女の体に私の印を残しても……
無意味な事だと分かっているのに……

どうか許して

気持ちいい?

私は喘ぐ貴女の顔……本当に可愛いくて……愛おしく

ピクピク腰が跳ねて……シ歯止めが効かなくなつた……シ

今まで貴女を傷つけた事……許されぬとは思つていない

全てはこの悪魔が起こした事

貴女は何も悪くなかった

ただひたすら彼を愛しただけ

だからどうか……自分を責めないで

貴女の優しさを最期まで利用する卑しい私を……どうか、許して

あ……ハアツ、ダメだ、もう、イキそ……

はあ……ツン、ハアツ……、JJつかに向いて、私を見て

死して尚、人を愛する事があるとは
私は、貴女を……愛していた。ん……

貴女を置いて逝く事が「れほど」の無念とは…………んんツハアツ……ツ
貴女との時間は、まるで生きているかのようだった…………はあ……ツ
嫉妬 情熱 欲望 愛情……地獄への土産にふたわしい…………んツ！

貴女の中で果てながら……静かに消えていきたい

貴女も……一緒にイツて……

愛、してゐる……！

※発射

私に与えられた最期の罰が……貴女を愛する事だったとは……

最高に幸せな天罰だ

さよなら……愛しい人

7、ヒューローク

(勇士)

ギヤー——、ベジナリやんなんか、来たー、後ろー、
廃墟のはずなのに、ひ、ひひ、ひひ人の声!!

わあーで、でで、出たーまた、お化け!!

助けてー、ぬわあああ

ベビカヤーも、早くー、ボーツとしてなごだいつか来てよー

(一徹)

はあーーー。へらぬしゃ

ハツハハー何だにぎよつとした顔をして。

向こうに現れた幽靈は全く相手にしてしないの!」

私の顔はそんなに恐いしいか?

(勇士)

やだやだー、ベビちゃんー、へつ! 何で他の人——どつかで見た事ある幽靈が…
…ツ

つてぬわああー、あつちも! うつちも幽靈だ! ナジちゃんー、しかも一人は知り合つ!

(一徹)

ふう。あの小僧は相変わらずだな。懲りずにお前を廃墟に引っ張り回して

お陰様で、何だか知らないが、お前の守護靈を命じられた
私だつて断れるものなら断りたかったが、知らない内にそういう事になつた

またこの阿吽口念佛に付も合わなければならぬんで、嘆かわしい

(勇士)

うわああーーまだお化けが追いかけてるー、ちよつとー、助けてよー

(一徹)

あの阿呆とこぬ限り! うつ田に遭い続けるが

それでもあの能天氣小僧がいいのか?

ふう……そうだな、忘れていた。お前も大概な阿呆だつたな

まあいい、私としつせ、これで……

お前に会つていいの口塞がたくたら出来へん訳だ

まあ、こんな阿呆カップルにタダ働きするのは理に合わない
アソブがこんな遊びをしてしむ限りは……守護の代償を
お前に体で支払つてもうおうかな?

(勇士)

ナーハー、ベビちゃんとしゃべつてる「知り合い幽靈」の、主人ー

お願ひしおかーへひやべつてなつて早く助かー。幽靈仲間なつでしょ? お

あ、ぬつだー。あとですねー。むつびぎやーことお玉井とつなこじへだよ
あの後、僕もいやこと、話、聞こたんですかりねー。
後でいやこと話してまーしつわあああー。後ろにわつ | ほせ元にわつ

(一徹) はあ～～。先帰るつか

私も久々の下界で腹が減つたぞ。この間のトボ、またお供へられ
なんて言つたかな、あの……「バズワスイージ」とこゝやつ

ん? 何だ。あれは菓子の名ではなこののか?

(勇士) ねえ、べびかやんー。主人ー。何べひやくや談笑してのうね、ねえい
ば

(一徹) お~小僧、先車戻つてゐる

(勇士) ひつ醋ごよ、なんでー。どうこうつ事! と

べびかやーーと? 笑つてゐる場合口じやーぬああわあーーー

(一徹) ハハハッ! 小僧ほひゅうと懲りしめてやうなことな

セ! 久々の再会だ。あいつが戻つて来ゆまでも詳しへ聞かせてくれ

るの「ビズワスイージ」とやうの事を。天国の壁みなへ土産に持つてこせたこだ

(勇士) べびかやーーと、置こてかなこじよおお!

(一徹) ハハハハッ! やつたらんこつぱんこつぱん 本当に置こてばー

(勇士) むうー。ひみつとー。おじかこー。置こてかなこじよおお!

(一徹) おじかこつたからもつ絶対に置こてばー

(勇士) もおおおおお鬼ー。悪魔ー。悪靈ー。怨靈

(一徹) ハイ怒つた発車します

(勇士) 「みんなヤーー神様ー。仏様ー。超絶天使なお兄ヤーーーー